

委員会レポート

総務建設
委員会

総務建設委員会に付託された議案は1件。

9月17日に開催し、審査を行いました。

討論・採決

付託された議案は全員賛成で原案を了承しました。

厚生文教
委員会

厚生文教委員会に付託された議案は5件。

9月18日に開催し、審査を行いました。

議案

◆議案第32号

「弥富市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用に関する条例の一部改正について」

問 「進学・就職準備給付金」を「進学・就職準備給付金」に変更することで、何が変わるのか。

答 実務上の取り扱いに変更はない。

◇コンビニ交付サービスについて

問 あま市のように戸籍の写し、戸籍の附票の写しなど交付できないか。

答 システムが違いため、発行可能な証明書の種類が異なる。

問 窓口でキャッシュレス決済のサービス導入の考えは。

答 導入に向け調査研究していく。



討論・採決

議案第34号に関して反対討論がありました。付託された議案は全て原案を了承しました。

予算決算委員会

予算決算委員会に付託された議案は10件。

9月19日に開催し、審査を行いました。

議案



◆議案第36号

「令和6年度弥富市一般会計補正予算(第6号)」

問 派遣保育士の委託料が3870万円もあるが、1時間の単価は。

答 資格ありで約1900円から2400円、資格のない保育補助員が約1900円から2千円程。

問 1日の委託人数および勤務時間は。

答 派遣職員数は現在33人に増加。勤務時間は、1日4時間から7時間30分。

総務部
決算審査

◇ふるさとやとみ応援寄付金について

問 弥富市への寄付額向上のため、今後どのような改善策を講じていくのか。

答 掲載サイトの見直しや地場産品基準に適合する魅力ある返礼品の開拓をさらに進めていく。

◇実質収支額について

問 単年度収支額、実質単年度収支額ともに赤字になった主な要因は。

答 普通交付税収入の減少による約1億3900万円、令和元年度借入れの新庁舎建設事業の元金償還開始による約4千万円、給与改定に伴う職員人件費の増加による約4千万円が主なもの。

◇歳入について

問 自動車取得税交付金が増加した要因は。

答 滞納繰越等された自動車取得税の納付が増加したことによる。

◇市広報等発行事業について

問 令和4年度と発行、印刷部数、内容などほとんど同じであるが印刷製本費が130万ほど増加している理由は。

答 昨今の物価上昇による紙の高騰をはじめとする輸送費、人件費等の高騰による。

◇職員数について

問 保育士が減っている要因は。

答 採用内定後に辞退があったことや、予定にない自己都合退職があったこと。

問 どのような理由で辞めていくことが多いのか。

答 一身上の都合で、全てを把握していない。



◇選挙について

問 投票率の向上のため、改善する手立ては考えているか。

答 引き続き主権者教育を推進するとともに、若い世代等に向けたLINEやX等にて選挙を呼びかける情報発信を行うなどの啓発に取り組んでいく。

◇基金について

問 財政調整基金の目安としている標準財政規模の10%はいくらか。どこまで増額させるのか。

答 本市の標準財政規模は約115億円であり、その10%の約12億円を目安としている。今後どこまで増額させるか具体的な数値を定めていない。

◇地方交付税の収入状況について

問 令和5年度の普通交付税が減少した主な要因は。

答 基準財政収入額が大幅に伸びたことにより、普通交付税の額は減少している。基準財政収入額の伸びた主な項目は、地方消費税交付金、法人市民税の法人税割、固定資産税のうち償却資産が、それぞれ増加したため。

◇歳出について

問 扶助費が大きく増えた要因は。

答 子ども医療助成費、中学校入学祝金、介護給付費・訓練等給付費の市負担分の増加が大きな要因。